

第3回展示 HUCOMM Future Human Communication  
平成3年3月26日～12月20日



### 展示コンセプト

**FUTURE** コンピュータ（情報処理）と通信との融合によって実現する高度情報化社会においては、“情報”は20世紀とは比較にならないほど、量的にも質的にも影響力を増し、あらゆる人が共有することのできる社会の知的資源として位置づけられます。最先端のオプト・テクノロジー（光技術）を駆使する通信技術は、文字（TEXT）、音（SOUND）、画像（GRAPHIC）、映像（VISUAL）のすべてをたった一本のガラス繊維に乗せて、地球の裏側へ瞬時のうちに伝送します。さらに、DSP（デジタル・シグナル・プロセッサ）としてのコンピュータディスプレイの高度化は、テレビ、電話、パソコン、FAX、といったコミュニケーションメディアをインテグレートし、統合化が進むのが、21世紀の“情報”環境であると予測します。

**HUMAN** 高度情報化社会……私たちは日常生活の中で、この言葉を何度も耳にしています。ある人は、情報が自由化され、世界中のあらゆる情報が手に入る素晴らしい社会だといっています。ある人は洪水のように情報が押しよせ、コントロールできなくなる社会だといっています。また、コンピュータに人間が管理される社会だと警告する人もいます。私たちの前に、まだ扉を閉ざしたままの高度情報化社会…、その扉を開ける鍵…それが“情報”なのです。“情報”こそが、私たちがこれから垣間見ようとする道への世界への唯一の道しるべとなるはずです。

**COMMUNICATION** 未来社会では、ほしい情報を、あなたの意思で、あなた自身が積極的に手を差し出さなければなりません。欲しい情報、知りたい事柄、見たい映像…、そのようなあなたの限りない知的好奇心に忠実に応えてくれるはず。私たちは、そのようなコミュニケーションを、“HUCOMM-Future Human Communication”と呼びたいと思います。いつでも、どのような環境においても、ヒューマンでフレンドリーなコミュニケーションが可能な社会を実現するには、そのイノベーションの方向を私たち自身が決めなければなりません。情報が何にも増して価値を持つ社会で、情報を生み出し、それを使う私たち自身が、モラルを持ち、他ならない私たち自身がヒューマンであること。私たちはその素晴らしい情報環境を

HARP第3回の展示空間に実現し、情報の持つ大きな意義を感じていただきた  
いと思います。

---

### **主催**

財団法人 機械産業記念事業財団 HARP-Hightech Art Planning

### **後援**

通商産業省 住宅情報化推進協議会 財団法人 ハイビジョン普及支援センタ  
ー

### **協力**

中小企業事業団 財団法人 エンジニアリング振興協会 社団法人関西電子工  
業振興センター 日本放送協会 ハイビジョンシステム事業協同組合 アイ  
・エヌ・エス株式会社 株式会社アサカ アップルコンピュータジャパン  
株式会社 池上通信機械株式会社 インテルジャパン株式会社 株式会社  
S.S.コミュニケーションズ エナジーサポート株式会社 大阪ガス株式会社  
株式会社グラフィックス・コミュニケーション・テクノロジーズ 三洋電機  
株式会社 株式会社シバソク 清水建設株式会社 シャープ株式会社 住商  
電子システム株式会社 セコム株式会社 ソニー株式会社 ソニーPCL株式  
会社 大成建設株式会社 大日本印刷株式会社 株式会社竹中工務店 ダッ  
トジャパン株式会社 東京海上火災保険株式会社 東京ガス株式会社 東京  
電力株式会社 株式会社東芝 東邦ガス株式会社 凸版印刷株式会社 日本  
アイ・ビー・エム株式会社 日本AT&T株式会社 日本航空株式会社 日本  
電気株式会社 日本電気ホームエレクトロニクス株式会社 日本電信電話株  
式会社 パイオニア株式会社 ハイビジョン環境映像研究会 株式会社ハイ  
ビジョンコミュニケーションズ 株式会社日立製作所 日立電子株式会社  
富士写真フイルム株式会社 富士通株式会社 松下通信工業株式会社 松下  
電器産業株式会社 ミサワホーム株式会社 三井海上火災保険株式会社 三  
井不動産株式会社 三菱電機株式会社 ヤマハ株式会社 株式会社ワイ・デ  
ーケー